

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	西日本短期大学
設置者名	学校法人西日本短期大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	ビジネス法学科	夜・通信			8	8	7	
	緑地環境学科	夜・通信			12	12	7	
	社会福祉学科	夜・通信			8	8	7	
	保育学科	夜・通信			8	8	7	
	健康スポーツコミュニケーション学科	夜・通信			8	8	7	
	メディア・プロモーション学科	夜・通信			8	8	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページに公表。 <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-3.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-3.pdf</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	西日本短期大学
設置者名	学校法人西日本短期大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページにて公開 <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho14-2.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho14-2.pdf</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社社長	2025.5.30～ 2029 定時評議員会終結時	広報戦略
非常勤	医師	2025.5.30～ 2029 定時評議員会終結時	教学
非常勤	博物館顧問	2025.5.30～ 2029 定時評議員会終結時	コンプライアンス
非常勤	会社社長	2025.5.30～ 2029 定時評議員会終結時	財務
非常勤	某市副市長	2025.5.30～ 2029 定時評議員会終結時	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	西日本短期大学
設置者名	学校法人西日本短期大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教務部から授業科目担当者に対して、授業計画(シラバス)作成要項を提示し授業計画(シラバス)の作成を求めている。作成時期は、毎年1月～3月の期間である。</p> <p>授業計画(シラバス)記入項目については、教務部会において定期的に見直し検討をおこなっている。</p> <p>授業計画(シラバス)公表時期については、新年度4月に学生へWebサイトを通じて授業計画(シラバス)を明示、5月にホームページに掲載して外部へ公表している。</p> <p>授業計画(シラバス)の記入項目については、次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の方法(講義、演習、実技、実習の別)</li> <li>2. 授業の概要</li> <li>3. 授業到達目標</li> <li>4. 課題に対するフィードバックの方法</li> <li>5. 各週の授業毎のテーマ(授業内容)</li> <li>6. 使用教科書</li> <li>7. 参考書・参考文献</li> <li>8. 成績評価の方法・評価基準</li> </ol>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページに公表。</p> <p>①ビジネス法学科  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025hougaku.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025hougaku.pdf</a></p> <p>②緑地環境学科  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025ryokuchi.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025ryokuchi.pdf</a></p> <p>③社会福祉学科  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025shafuku.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025shafuku.pdf</a></p> <p>④保育学科  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025hoiku.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025hoiku.pdf</a></p> <p>⑤健康スポーツコミュニケーション学科  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025sports.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025sports.pdf</a></p> <p>⑥メディア・プロモーション学科  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025media.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/2025media.pdf</a></p>

<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業担当者は、各授業方法に応じて、グループワーク、小テスト、レポートやアクティブラーニングの手法を用いて授業の振り返りをしつつ、学生が授業の到達目標に達するよう学修の状況を把握し授業を進めている。</p> <p>授業の到達目標、成績評価の方法及び評価基準をあらかじめ学生に明示し、筆記試験、レポート、課題等により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位授与を行っている。加えて、卒業年次には、あらかじめ学生に明示している卒業要件により教授会において厳格に卒業を認定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的、厳格な成績評価を行うためにGPAによる成績評価基準を設けている。GPAによる成績評価の算出方法は次のとおりで、成績の点数をグレードポイント(GP)に置き換えて、成績評定平均値を求める。</p> <p>100点から90点までを秀 GP=4  89点から80点までを優 GP=3  79点から70点までを良 GP=2  69点から60点までを可 GP=1  59点以下又は失格を不可 GP=0</p> <p><math>GPA = (\text{履修科目のGP} \times \text{単位数}) \text{の合計} \div \text{履修科目の総単位数}</math></p> <p>GPA制度については、新年度の学年指導において学生へ周知している。  GPA分布状況を把握し、成績評価の客観的な指標の設定を適切に実施している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページに公表。  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-3.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-3.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

各学科で定めた学位授与の方針及び卒業要件に従い教授会において卒業認定を行う。

#### ビジネス法学科

ビジネスと法律に関わる専門的知識を身につけ、社会問題をビジネスやさまざまな視点から分析し、創造的かつ柔軟に課題を解決する力を養うために、以下をディプロマ・ポリシーとして提示する。

1. 豊かな人間性  
他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。
2. コミュニケーション能力  
多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。
3. 専門的知識・技術・技能  
ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。
4. 創造的思考力  
社会問題をビジネスや法律の視点から分析し、創造的かつ柔軟な解決策を提案・実行することができる。
5. 実践的応用力  
短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。

#### 緑地環境学科

1. 豊かな人間性  
地域社会・多様な自然環境の中での豊富な実習で培った、幅広い原体験・身体体験をもとにした個性・人間性を身につけ、地球環境を意識して活動できること。
2. コミュニケーション能力  
多様な主体と交流しつながらをつくりながら、自然と人が共生する都市環境、地域環境、社会環境、生活環境を形成するための、コミュニケーションの方法と能力を身につけていること。
3. 専門的知識・技術・技能  
豊富な実習、実践・実物教育から身につけた基礎的な植物・生態学の知識を見つけていること。さらに自然環境・伝統的造園・園芸の各分野で活用可能な、調査・計画・設計・施工・維持管理・運営管理のための専門技術と技能を身につけていること。
4. 創造的思考力  
プロセスを重視した設計演習や豊富なフィールドでの実習・演習・活動を通し、ファシリテーション技術、計画設計図面作成技術、WEBやグラフィックの能力を身につけていること。さらに、それを活用して、デザイン力、創造的思考力、地球環境から地域環境・生活環境までの様々な問題を解決する能力を身につけていること。
5. 実践的応用力  
自然と人・社会のより良い環境の創成・保全・保護を行うため、①求められている環境形成のために技術・技能を活用する応用力と②多様な分野の人との関わりの中で必要なコミュニケーションの応用力、二つの実践的な応用力を身につけていること。

#### 社会福祉学科

1. 豊かな人間性

社会人として必要な教養や人間力が備わっている。

2. コミュニケーション能力  
利用者を尊重した個別ケアの方法や技術が身についている。
3. 専門的知識・技術・技能  
介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身についている。
4. 創造的思考力  
質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。
5. 実践的応用力  
専門的知識と実践力を統合した力が身についている。

#### 保育学科

1. 豊かな人間性  
誠実で責任感が強く、子どもたちにとっての人間モデルとなる良識と教養をそなえた考え方や言動ができる。
2. コミュニケーション能力  
自身の考えや思いを適切な表現で伝えることができ、他者の考えや思いを尊重して、あらゆる関係において相互理解と関係構築に努めている。
3. 専門的知識・技術・技能  
保育者として求められる専門的知識と視点、基礎スキルが身についており、さらなる研鑽に積極的で、感謝して謙虚に学ぶ姿勢をもっている。
4. 創造的思考力  
広い視野でものごとをとらえ、環境や社会がより良いものになるための独創的な発想ができ、それを実現するための行動をとることができる。
5. 実践的応用力  
授業や実習で学んだ知識・視点・スキルをもって、実際の保育・教育場面で対象の最善の利益につながる判断と行動選択ができる。

#### 健康スポーツコミュニケーション学科

1. 豊かな人間性  
質の高いスポーツ指導者としての人間性、社会性を有する。
2. コミュニケーション能力  
地域社会へのウェルネスの貢献を有する。
3. 専門的知識・技術・技能  
スポーツ指導に関する理論的な専門知識と指導技術を有する。
4. 創造的思考力  
スポーツ指導に関して、地域性や対象者に応じた創意工夫ができる。
5. 実践的応用力  
スポーツ指導の実践力を身につけるとともに、指導的応用力が発揮できる。

#### メディア・プロモーション学科

1. 豊かな人間性  
高い倫理観と優れた人格を備え、法律のかつ政治的なものの考え方ができる。
2. コミュニケーション能力  
社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけている。
3. 専門的知識・技術・技能  
メディアに関する職業意識と専門的な能力を身につけている。
4. 創造的思考力  
メディア表現を通じて、社会に新しい価値観やアイデアを提供することができる。
5. 実践的応用力  
グローバル化に対応した教養と専門知識を身につけており、それを実践的に応用することができる。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	ホームページに公表。 <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf</a>
----------------------	---

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	西日本短期大学
設置者名	学校法人西日本短期大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページにて公開 <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu4.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu4.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	本学ホームページにて公開 <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu1.pdf</a> <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu2.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu2.pdf</a> <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu3.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu3.pdf</a>
財産目録	本学ホームページにて公開 <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu5.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu5.pdf</a>
事業報告書	本学ホームページにて公開 <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu6.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu6.pdf</a>
監事による監査報告(書)	本学ホームページにて公開 <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu7.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2024/09/zaimu7.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページに公表 <a href="https://www.nishitan.ac.jp/accredited/">https://www.nishitan.ac.jp/accredited/</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:
-------

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	ビジネス法学科
教育研究上の目的（公表方法：ホームページに公表）	<a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho1.pdf</a>
(概要)	<p>ビジネスマインドとリーガルマインドをバランスよく備え、社会問題をさまざまな視点から分析し、創造的かつ柔軟に課題を解決することができるビジネスパーソンを育成する。</p>
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ公表）	<a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf</a>
(概要)	<p>ビジネスと法律に関わる専門的知識を身につけ、社会問題をビジネスやさまざまな視点から分析し、創造的かつ柔軟に課題を解決する力を養うために、以下をディプロマ・ポリシーとして提示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたすことができる。</li> <li>2. コミュニケーション能力 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達することができる。</li> <li>3. 専門的知識・技術・技能 ビジネスと法律に関わる専門的知識を修得し、専門家としての思考方式（ビジネスマインドとリーガルマインド）に基づいて考えることができる。</li> <li>4. 創造的思考力 社会問題をビジネスや法律の視点から分析し、創造的かつ柔軟な解決策を提案・実行することができる。</li> <li>5. 実践的応用力 短期大学で学んだ専門的知識を活かしながら、さらに、自らの目標を設定し、自己の適性や能力を理解して、必要な力を身につけるために学び続けることができる。</li> </ol>
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに公表）	<a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-1.pdf</a>
(概要)	<p>本学科では、ビジネスと法律に関わる専門知識や思考方式を身につけ、社会問題をさまざまな視点から分析し、創造的かつ柔軟に課題を解決する力を養うために、以下をカリキュラム・ポリシーとして提示する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 他者を尊重し、他者と協調しながら社会のなかで役割をはたす力を修得するために基礎科目を開講する。</li> <li>2. 多様な背景・価値観を持つ他者と積極的にコミュニケーションをはかり、他者を正しく理解し、自らの考えを適切に伝達する力を修得するために基礎科目を開講する。</li> <li>3. ビジネスと法律に関わる専門知識を専門家としての思考方式（ビジネスマインドやリーガルマインド）を修得するために専門科目を開講する。</li> <li>4. 社会問題をビジネスや法律の視点から分析し、創造的かつ柔軟な解決策を考える力を修得するために、専門科目を開講する。</li> </ol>

<p>5. 目標とする進路への理解を深め、そのモチベーションを高めるため、3つのコース（①公務員コース、②商経ビジネスコース、③アジアビジネスコース（留学生のみ））を設置する。各コースでは、進路に到達するために必要な科目や、資格を取得するための対策科目、その他キャリアサポート科目を開講する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho4-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho4-1.pdf</a></p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法律の基礎知識およびリーガルマインドを備えたビジネスパーソンとして、企業や公的機関などで活躍することを目指す人</li> <li>2. 経済・経営・会計等のビジネスに関わる知識とビジネスマインドを備えたビジネスパーソンとして、企業や公的機関で活躍することを目指す人</li> <li>3. 多様な背景・価値観をもつ他者と積極的にコミュニケーションをはかりながら、共に学ぶことができる人</li> <li>4. 自らの進路を明確に見据え、到達に向けて資格取得や進学にむけた学習を継続することができる人</li> </ol>

<p>学部等名 緑地環境学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページに公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho1.pdf</a></p>
<p>（概要）</p> <p>自然との共生を図り、伝統的造園文化・技術を継承するとともに、ガーデンデザイン等を修得し、快適な生活環境を創造できる人材を養成する。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf</a></p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性  地域社会・多様な自然環境の中での豊富な実習で培った、幅広い原体験・身体体験をもとにした個性・人間性を身につけ、地球環境を意識して活動できること。</li> <li>2. コミュニケーション能力  多様な主体と交流しつながらをつくりながら、自然と人が共生する都市環境、地域環境、社会環境、生活環境を形成するための、コミュニケーションの方法と能力を身につけていること。</li> <li>3. 専門的知識・技術・技能  豊富な実習、実践・実物教育から身につけた基礎的な植物・生態学の知識を見つけていること。さらに自然環境・伝統的造園・園芸の各分野で活用可能な、調査・計画・設計・施工・維持管理・運営管理のための専門技術と技能を身につけていること。</li> <li>4. 創造的思考力  プロセスを重視した設計演習や豊富なフィールドでの実習・演習・活動を通し、ファシリテーション技術、計画設計図面作成技術、WEB やグラフィックの能力を身につけていること。さらに、それを活用して、デザイン力、創造的思考力、地球環境から地域環境・生活環境までの様々な問題を解決する能力を身につけていること。</li> <li>5. 実践的応用力  自然と人・社会のより良い環境の創成・保全・保護を行うため、①求められている環境形成のために技術・技能を活用する応用力と②多様な分野の人との関わりの中で必要なコミュニケーションの応用力、二つの実践的な応用力を身につけていること。</li> </ol>

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-1.pdf</a></p>
<p>（概要）          本学科では、“緑”を人類の生命の源として位置づけ、“緑”の多面的・複合的な機能に着目して“環境”を“緑”の視点で捉えることで快適な生活環境を創造し、人間と自然との総合的な調和ができる人材を育成するため、以下のような方針に基づいて教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 1年次にはそれらの基礎を学びつつ、自らのキャリアデザインの方向を定めるため、3つのコース（①造園芸術コース、②ガーデンデザインコース、③自然環境デザインコース）を設置する。各コースでは、進路に到達するために必要な科目や資格取得支援科目を開講する。</li> <li>2. 2年次にはその応用へと展開しながら社会人への準備を進めるため、造園・園芸・自然環境系の応用科目、専門性の高いゼミナールを開講する。</li> <li>3. 身近な庭園から公共造園、地域社会そして地球環境問題まで、社会・時代の要求に応える科目を開講する。</li> <li>4. 福浜・二丈の2つのキャンパスを活用して、中堅技術者・自営業者として必要な実践的科目を開講する。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho4-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho4-1.pdf</a></p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一般常識や教養を身に付けた幅広い人格を持った人。</li> <li>2. 自然との共生を図り、伝統的造園文化・技術を継承し地域社会に貢献できる造園家を目指す人。</li> <li>3. ガーデニングやフラワーデザイン等を習得し、快適な生活環境を創造できるガーデナーを目指す人。</li> <li>4. 身近な自然環境を保全・創造するために情熱を傾注し、緑豊かな地域社会創りに貢献したいと考えている人。</li> </ol>

<p>学部等名 社会福祉学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページに公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho1.pdf</a></p>
<p>（概要）          介護福祉士として深い人間理解ができ、人間の尊厳や個人の人格を重視し他人を思いやる豊かな人間性と、実践的能力を身につけた介護福祉士を養成する。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf</a></p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性              社会人として必要な教養や人間力が備わっている。</li> <li>2. コミュニケーション能力              利用者を尊重した個別ケアの方法や技術が身につけている。</li> <li>3. 専門的知識・技術・技能              介護福祉士として必要な専門的知識や理論、技術が身につけている。</li> <li>4. 創造的思考力              質の高い介護福祉士として、応用力やチームマネジメント力を有している。</li> <li>5. 実践的応用力              専門的知識と実践力を統合した力が身につけている。</li> </ol>

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-1.pdf</a></p>
<p>（概要）          本学科では、専門的知識や確かな介護技術を身につけた「心と体のケアのスペシャリスト」の養成を目指し、以下のような方針に基づき教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者や障がい児・者のニーズを理解し、個別的課題に対応できる力、対象者に応じた生活を支援するための専門的知識や理論、技術を学ぶための専門科目を開講する。</li> <li>2. 介護実践を支える教養を高め、豊かな人間性を養う科目を開講する。</li> <li>3. 対象者の生活の質や人生を豊かにするための「アクティビティ」や「心と体を癒すケア」等を身につけることができる専門科目を開講する。</li> <li>4. 介護福祉士としての実践力や倫理性を養うため、実習やボランティアなどを通じて、他職種連携やチームケアを現場の介護福祉士等から直接学ぶ体験教育を重視した科目を開講する。</li> <li>5. 介護福祉士として、身につけた知識やスキルを統合的に捉えるための専門科目を開講する。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho4-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho4-1.pdf</a></p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護福祉専門職として、積極的に課題に取り組む努力ができる人。</li> <li>2. 人や社会に関わりながら、自己成長したいと希望している人。</li> <li>3. 高齢者や障がい児・者の社会での在り方を平等な視点に立って考えることができる人。</li> <li>4. 報恩・感謝の気持ちをもって他者と関わることができる人。</li> <li>5. 責任感があり誠実である人。</li> </ol>
<p>学部等名 保育学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページに公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho1.pdf</a></p>
<p>（概要）          保育・幼児教育に関する高度な専門知識や技術を習得させ、さらに幅広い教養と視野を持った人間性豊かな保育者の養成をする。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf</a></p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性          誠実で責任感が強く、子どもたちにとっての人間モデルとなる良識と教養をそなえた考え方や言動ができる。</li> <li>2. コミュニケーション能力          自身の考えや思いを適切な表現で伝えることができ、他者の考えや思いを尊重して、あらゆる関係において相互理解と関係構築に努めている。</li> <li>3. 専門的知識・技術・技能          保育者として求められる専門的知識と視点、基礎スキルが身につけており、さらなる研鑽に積極的で、感謝して謙虚に学ぶ姿勢をもっている。</li> <li>4. 創造的思考力          広い視野でものごとをとらえ、環境や社会がより良いものになるための独創的な発想ができ、それを実現するための行動をとることができる。</li> </ol>

<p>5. 実践的応用力 授業や実習で学んだ知識・視点・スキルをもって、実際の保育・教育場面で対象の最善の利益につながる判断と行動選択ができる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに公表） <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-1.pdf</a></p>
<p>（概要） 本学科では、「思いやりの保育力」を身につけた、豊かな人間性と専門的スキルを備えた保育者の育成を目指し、以下のような方針に基づき教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「感謝の心」「謙虚な心」「和の心」を大切に、現代社会のニーズに応えることのできる共感力や主体性、誠実さなどの「人間力」を育む科目を開講する。</li> <li>2. 確かなプロ意識の芽を育てるため、実習やボランティア、地域との交流など現場体験を重視した科目を開講する。</li> <li>3. 保育者に求められる専門的な知識やスキル（「専門的知力」）を身につけるための専門科目を開講する。</li> <li>4. 自分の考えや思いを適切な方法で表現することができる力（「表現力」）を身につけるための科目を開講する。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに公表） <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho4-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho4-1.pdf</a></p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもを大切に思い、保育者を目指して努力する人。</li> <li>2. 自分自身に向き合うことができ、素直な気持ちで意欲的に学ぶ人。</li> <li>3. 自分で考え、主体的に行動できる人。</li> <li>4. 人とのふれ合いに積極的な人。</li> <li>5. 子どもたちに寄り添いながら、ともに成長していける人。</li> </ol>
<p>学部等名 健康スポーツコミュニケーション学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページに公表） <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho1.pdf</a></p>
<p>（概要） 豊かな人間性を育て、スポーツ活動を実践する全ての人の役に立つ人材の養成を目的としている。「元気の創造」、「たくましさの創造」ができる質の高いスポーツ指導者の養成が目標である。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ公表） <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf</a></p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性 質の高いスポーツ指導者としての人間性、社会性を有する。</li> <li>2. コミュニケーション能力 地域社会へのウェルネスの貢献を有する。</li> <li>3. 専門的知識・技術・技能 スポーツ指導に関する理論的な専門知識と指導技術を有する。</li> <li>4. 創造的思考力 スポーツ指導に関して、地域性や対象者に応じた創意工夫ができる。</li> <li>5. 実践的応用力 スポーツ指導の実践力を身につけるとともに、指導的応用力が発揮できる。</li> </ol>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに公表） <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-1.pdf</a></p>

<p>(概要)</p> <p>本学科では、「スポーツ活動を実践する全ての人のために」という教育理念に基づき、人間性豊かな専門職業人を養成するため、以下のような方針に基づいて教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフスキルを獲得するため、教養科目を開講する。</li> <li>2. 1年次に健康・スポーツ科学の基礎を学ぶための科目を開講し、2年次に健康・スポーツ科学の専門的な知識と方法論を学ぶための科目を開講する。</li> <li>3. スポーツ・運動の指導実践力を獲得するため、1年次にスポーツ実技科目、2年次にスポーツ指導実践科目を開講する。</li> <li>4. 専門性を高めるため、2年次にキッズスポーツコース、フィットネストレーナーコースを設置する。キッズスポーツコースでは、「たくましさ」を創るジュニアスポーツの指導者を育成するために、キッズスポーツ、幼児体育などに関する理論と指導の実践科目を開講する。フィットネストレーナーコースでは、「元気」を創るスポーツ指導者を育成するために、健康・体力づくりのためのスポーツ、障がい者スポーツを対象としたパラスポーツに関する理論と指導の実践科目を開講する。</li> <li>5. 身につけた知識やスキルを発展させ、人間性と職業スキルを高めるために、学外実習を重視した科目を開講する。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに公表）</p> <p><a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho4-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho4-1.pdf</a></p>
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体を動かすことが好きで、子どもや成人、障がい者、高齢者のスポーツ、健康に関心を持ち、専門的に理解を深めたい人。</li> <li>2. スポーツ、運動を通して共に支え合う社会の実現に役立つ担い手になりたいと考えている人。</li> <li>3. 地域、スポーツイベントに関連するボランティア活動や課外活動に取り組む意欲のある人。</li> <li>4. スポーツや健康の指導に関連する資格取得に積極的に取り組む人。</li> </ol>
<p>学部等名 メディア・プロモーション学科</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページに公表）</p> <p><a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho1.pdf</a></p>
<p>(概要)</p> <p>日本人としての伝統文化を伝承しつつ、グローバル化に対応した人間形成を目指し、土台となる基礎部分の充実を図り、教養教育と実践的な専門教育を展開し、メディアに関する多様な職業意識と専門的な能力を兼ね備えた人材を養成する。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：ホームページ公表）</p> <p><a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho6-1.pdf</a></p>
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 豊かな人間性 高い倫理観と優れた人格を備え、法律のかつ政治的なものの考え方ができる。</li> <li>2. コミュニケーション能力 社会人また表現者として、十分なコミュニケーション能力を身につけている。</li> <li>3. 専門的知識・技術・技能 メディアに関する職業意識と専門的な能力を身につけている。</li> <li>4. 創造的思考力 メディア表現を通じて、社会に新しい価値観やアイデアを提供することができる。</li> <li>5. 実践的応用力 グローバル化に対応した教養と専門知識を身につけており、それを実践的に応用す</li> </ol>

ることができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページに公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho5-1.pdf</a></p>
<p>（概要）          本学科では、「法律・政治・国際・表現・日本文化」をキーワードとしたカリキュラム編成をし、実践力と社会人基礎力およびコミュニケーション能力を身に付けさせる教育課程を編成している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高い倫理観と法律的なものの考え方を修得するため、法律学分野と政治学分野を中心とした社会科学系の専門科目を開講する。</li> <li>2. 本学科は、それぞれの進路に応じて「メディア表現コース」と「言語コミュニケーションコース」に分かれ、専門的な知識と能力の習得を目指す。</li> <li>3. 「メディア表現コース」では、メディアに関する職業意識と専門的な表現能力を修得するため、メディア系の実務家教員が担当する実践に即した実務科目を開講する。</li> <li>4. 「言語コミュニケーションコース」では、国際社会の一員として活躍出来るよう十分な語学力やビジネススキルを身につけ、異なる文化との価値観を超えた豊かな人間関係を育むための科目を開講する。</li> <li>5. 各コースともに、より実践に即したコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力を修得するため、グループワークを中心とした科目および日本文化を伝承しつつグローバル化に対応した人間形成を目指すための科目を開講する。</li> </ol>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページに公表）  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho4-1.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho4-1.pdf</a></p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自らが主体的にメディア文化の未来を開拓する意志と素質を兼ね備えている人。</li> <li>2. 言語や文化に対する理解を深めたい人。</li> <li>3. コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の向上を目指す人。</li> <li>4. 国際感覚に優れ、表現することが好きな人。</li> </ol>

## ②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：公表方法：ホームページに公表。  <a href="https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho2.pdf">https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joho2.pdf</a></p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	2人	－					2人
ビジネス法学科	－	3人	1人	0人	1人	0人	5人
緑地環境学科	－	3人	1人	1人	2人	0人	7人
社会福祉学科	－	3人	1人	1人	0人	0人	5人
保育学科	－	3人	2人	2人	1人	0人	8人
健康スポーツコミュニケーション学科	－	2人	1人	1人	0人	0人	4人
メディア・プロモーション学科	－	2人	2人	0人	2人	0人	6人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
1人		人					1人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページに公表 <a href="https://www.nishitan.ac.jp/guide/teacher/">https://www.nishitan.ac.jp/guide/teacher/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ビジネス法学科	50人	52人	104%	100人	98人	98%	0人	0人
緑地環境学科	50人	33人	66%	100人	65人	65%	0人	0人
社会福祉学科	50人	49人	98%	100人	99人	99%	0人	0人
保育学科	90人	34人	38%	180人	58人	32%	0人	0人
健康スポーツコミュニケーション学科	30人	16人	53%	60人	31人	52%	0人	0人
メディア・プロモーション学科	40人	34人	85%	80人	45人	56%	0人	0人
合計	310人	218人	70%	620人	396人	64%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ビジネス法 学科	47人 (100%)	2人 (4.3%)	33人 (70.2%)	12人 (25.5%)
緑地環境学 科	25人 (100%)	1人 (4.0%)	22人 (88.2%)	2人 (8.0%)
社会福祉学 科	53人 (100%)	5人 (9.4%)	47人 (88.7%)	1人 (1.9%)
保育学科	32人 (100%)	1人 (3.1%)	31人 (96.9%)	0人 (0%)
健康スポーツ コミュニケーション 学科	7人 (100%)	0人 (0%)	6人 (85.7%)	1人 (14.3%)
メディア・ プロモーション 学科	20人 (100%)	1人 (5.0%)	16人 (80.0%)	3人 (15.0%)
合計	184人 (100%)	10人 (5.4%)	155人 (84.2%)	19人 (10.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>教務部から授業科目担当者に対して、授業計画(シラバス)作成要項を提示し授業計画(シラバス)の作成を求めている。作成時期は、毎年1月～3月の期間である。</p> <p>授業計画(シラバス)記入項目については、教務部会において定期的に見直し検討をおこなっている。</p> <p>授業計画(シラバス)公表時期については、新年度4月に学生へWebサイトを通じて授業計画(シラバス)を明示、5月にホームページに掲載して外部へ公表している。</p> <p>授業計画(シラバス)の記入項目については、次のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業の方法(講義、演習、実技、実習の別)</li> <li>2. 授業の概要</li> <li>3. 授業到達目標</li> <li>4. 課題に対するフィードバックの方法</li> <li>5. 各週の授業毎のテーマ(授業内容)</li> <li>6. 使用教科書</li> <li>7. 参考書・参考文献</li> <li>8. 成績評価の方法・評価基準</li> </ol>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>授業担当者は、各授業方法に応じて、グループワーク、小テスト、レポートやアクティブラーニングの手法を用いて授業の振り返りをしつつ、学生が授業の到達目標に達するよう学修の状況を把握し授業を進めている。</p> <p>授業の到達目標、成績評価の方法及び評価基準をあらかじめ学生に明示し、筆記試験、レポート、課題等により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位授与を行っている。加えて、卒業年次には、あらかじめ学生に明示している卒業要件により教授会において厳格に卒業を認定している。</p>				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	ビジネス法学科	6 5 単位	有・無	5 0 単位
	緑地環境学科	6 4 単位	有・無	5 0 単位
	社会福祉学科	6 2 単位	有・無	5 0 単位
	保育学科	6 2 単位	有・無	5 0 単位
	健康スポーツコミュニケーション学科	6 4 単位	有・無	5 0 単位
	メディア・プロモーション学科	6 4 単位	有・無	5 0 単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.nishitan.ac.jp/wp-content/uploads/2025/06/joh011.pdf>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	ビジネス法学科	610,000 円	220,000 円	320,000 円	
	緑地環境学科	610,000 円	220,000 円	494,000 円	
	社会福祉学科	610,000 円	220,000 円	380,000 円	
	保育学科	610,000 円	220,000 円	380,000 円	
	健康スポーツコミュニ ケーション学科	610,000 円	220,000 円	340,000 円	
	メディア・プロモ ーション学科	610,000 円	220,000 円	380,000 円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要) 学生の修学の支援について</p> <p>[奨学生制度] 建学の精神を理解し、人物・成績ともに極めて優秀で経済的な事情で修学が困難な者に対して、授業料の減免を行う。</p> <p>[特待生制度] 建学の精神を理解し、高校3年間を通して特に優れた技能、表現能力及び高いスポーツ能力を有し、かつ人物として優れ、経済的な事情で修学が困難な者に対して、授業料の減免を行う。</p> <p>[オリエンテーション] 新入生オリエンテーションにおいて、学生生活、大学行事、教育課程、各種施設、サークル等の案内を行う。また、学科別指導を通じて入学生相互、または学科教員とのコミュニケーションを深めスムーズな大学生活の導入を図る。</p> <p>[初年次教育、キャリア教育] 授業を受ける上で必要な初年次教育や、2年間を通して、社会人として必要な能力を培う授業を開講し「総合的」「キャリア」教育を行う。</p> <p>[クラス、ゼミ制] クラス、ゼミ制を導入しており、担当教員が入学から卒業、就職または進学まで充実した大学生活を送れるよう保護者と連携をしながら個別指導を行う。</p> <p>[学生支援部] 学生支援部長を中心として各学科委員、事務職員で構成し、学生の生活指導、保健に関わること及び進路指導等を行う。</p> <p>[学友会] 学友会活動を通じて学術の研究と共に各種の部（または研究会）及び同好会（クラブ）等を通じて、学生同士の親睦を図る活動の支援を行う。 また、大学祭や卒業パーティーの開催に関して、指導及び支援を行う。</p> <p>[外国人留学生支援] 学生支援室に於いて、留学生の日常生活に係る問題について解決出来るように支援をしている。また、講義について、出席状況等を把握し、問題がある留学生には指導を行っている。</p>

b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>進路選択支援について</p> <p>学生支援室に於いて、民間企業をはじめ各種施設、団体等の求人情報、パンフレットを開架し就職の斡旋、開拓、履歴書の記入等、就職活動の支援を行っている。</p> <p>また、ポータルサイトを通して、求人票や企業説明会などの情報を学生が直接受け取れるようにしている。</p> <p>さらに、教員と学生情報を共有し、一貫した進路指導を強化している。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>保健室に養護教諭を1名配置し、体調不良の場合など対応できるようにしている。</p> <p>学校保健法、結核予防法に基づき定期健康診断を実施し全学生に結果を配布し必要な学生には学校医への相談及び医療機関の受診等の指導を行っている。</p> <p>学内での不慮のケガ、事故に対しては「学生教育研究傷害保険」「学研災付帯賠償責任保険」に全学生が加入している。</p> <p>また、心の問題を抱える学生のサポートとして『学生相談室』を設置し、臨床心理士によるカウンセリングを行っている</p>

#### ⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：総合学術研究論集を刊行し図書館において貸出を行っている。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F240310111033
学校名 (〇〇大学 等)	西日本短期大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人西日本短期大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		57人（ - ）人	54人（ - ）人	53人（ 0 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	30人	31人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅱ区分	12人	11人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅲ区分	14人	11人	
	（うち多子世帯）	（ 0人）	（ 0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	人	人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	-	-	
区分外（多子世帯）		人	人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				53人（ 0 ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	-	-
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	-
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	-
計	人	-	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	人	前半期	後半期	0人
		0人		0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	人	—	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	—	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	—
計	人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。